



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL http://www.izu-sr.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,457	3.3	189	91.7	△79	—	△126	—
27年3月期第2四半期	1,410	19.1	98	248.5	101	123.1	91	146.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △129百万円(—%) 27年3月期第2四半期 91百万円(170.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△4 45	— —
27年3月期第2四半期	3 27	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,408	674	47.7
27年3月期	1,283	802	62.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 672百万円 27年3月期 802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
28年3月期	— —	0 00			
28年3月期(予想)			— —	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	2.5	220	325.0	△40	—	△90	—	△3.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名)株式会社伊豆四季の花・海洋公園

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期2Q	28,496,537株	27年3月期	28,496,537株
28年3月期2Q	19,983株	27年3月期	19,913株
28年3月期2Q	28,476,561株	27年3月期2Q	27,832,747株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策・金融緩和の継続により企業収益・雇用情勢に改善しており、円安の影響による外国人観光客の増加などもあり、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。中国経済の減退や新興国経済の下振れなどにより先行きには不透明さもでて参りましたが、

このような状況下、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各運営施設の入園者数と売上確保に努めております。エンターテイメント事業では、継続してCM制作受注に努めております。また投資事業では、引き続き過去に投資した債権の回収を図っております。リスクマネジメントの観点から事業ポートフォリオの再構築についても適宜検討しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高14億57百万円（前年同四半期に比べ3.3%増）、営業利益1億89百万円（前年同四半期に比べ91.7%増）、経常損失79百万円（前年同四半期は経常利益1億1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億26百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益91百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

(レジャー事業)

伊豆シャボテン公園では、園内中央にある池を、動物のガイドをしながら巡る「アニマルボートツアー」がスタートしました。「カピバラ虹の広場」においては、カピバラの赤ちゃんが新たに3頭誕生しております。

伊豆ぐらんぱる公園では、開園50周年を記念し、国内初となる「船型立体迷路 ～KaiZOKU～」をオープンしました。また水と冒険の広場にて、巨大な水遊びゾーン「ウォーターランド ぷるぷる」をオープンし、浅い水深であることからお子様連れのご家族も安心してご利用頂きました。

伊豆四季の花公園では、「夏の山野草・水草展」を開催し集客に努めました。

伊豆海洋公園ダイビングセンターでは、磯プールにてちびっ子を対象にした宝探しや味のつかみどりといったイベントを開催いたしました。

また伊豆高原旅の駅ぐらんぱるぽーとでは、富戸港の定置網で取れた魚介類などを取り扱う屋外炭火焼「海鮮バーベキュー」に新しく牡蠣を追加し、メニューの充実化をはかっております。

概ね天候にも恵まれ、またいわゆるシルバーウィークの効果も手伝い、入園者数は538千人（前年同四半期に比べ9.0%増）となりました。

この結果、レジャー事業では、売上高13億96百万円（前年同四半期に比べ3.2%増）営業利益1億85百万円（前年同四半期に比べ31.0%増）となりました。

(エンターテイメント事業)

エンターテイメント事業では、CM制作による売上や当社が保有するコンテンツの二次使用による著作権収入がありました。

この結果、エンターテイメント事業では、売上高61百万円（前年同四半期に比べ5.0%増）営業損失19百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）となりました。

(投資事業)

投資事業では、過去に投資した投資有価証券の売却や債権回収を図りましたが、新規投資による売上はありませんでした。

(その他)

その他事業では、売上高0百万円、営業損失12百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13百万円増加し、3億81百万円となりました。これは主として、売掛金が61百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億10百万円増加し、10億26百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が1億10百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて1億24百万円増加し、14億8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、3億2百万円となりました。これは主として、未払金が41百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億68百万円増加し、4億31百万円となりました。これは主として、偶発損失引当金が2億72百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2億52百万円増加し、7億33百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて1億27百万円減少し、6億74百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の62.5%から47.7%となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、2億9百万円(前年度四半期は2億70百万円)となりました。

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は、99百万円となりました。これは主として、偶発損失引当金の増加額によるものであります。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、1億59百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出であります。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、0百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年5月14日に発表しました平成28年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、平成27年11月13日に公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社である株式会社伊豆シャボテン公園は、平成27年7月1日付で株式会社伊豆シャボテン公園を存続会社、当社の連結子会社であった株式会社伊豆四季の花・海洋公園を消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、株式会社伊豆四季の花・海洋公園は消滅し、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

1 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変
更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は
売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方
法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	269,702	209,048
売掛金	37,951	98,981
未収入金	341	452
商品等	19,229	18,851
繰延税金資産	25,607	37,740
その他	14,975	16,627
流動資産合計	367,807	381,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,642	555,119
土地	270,252	270,252
その他	97,287	146,271
有形固定資産合計	812,182	971,643
無形固定資産		
ソフトウェア	13,335	11,681
無形固定資産合計	13,335	11,681
投資その他の資産		
投資有価証券	59,663	11,503
長期貸付金	20,750	20,750
長期化営業債権	102,550	102,550
破産更生債権等	754	754
その他	30,680	31,758
貸倒引当金	△124,054	△124,054
投資その他の資産合計	90,343	43,261
固定資産合計	915,861	1,026,585
資産合計	1,283,669	1,408,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,589	54,720
未払金	197,462	155,810
前受金	257	47
預り金	4,272	4,813
未払法人税等	12,319	45,123
賞与引当金	16,827	18,308
その他	39,332	23,341
流動負債合計	318,061	302,165
固定負債		
繰延税金負債	307	-
退職給付に係る負債	124,730	124,769
偶発損失引当金	-	272,825
その他	38,297	33,917
固定負債合計	163,335	431,511
負債合計	481,396	733,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,091	455,091
資本剰余金	186,500	186,500
利益剰余金	172,055	45,066
自己株式	△12,016	△11,883
株主資本合計	801,629	674,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	△2,463
その他の包括利益累計額合計	642	△2,463
新株予約権	-	2,299
純資産合計	802,272	674,610
負債純資産合計	1,283,669	1,408,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,410,983	1,457,846
売上原価	560,184	556,197
売上総利益	850,798	901,648
販売費及び一般管理費	752,078	712,444
営業利益	98,720	189,203
営業外収益		
受取利息	334	51
為替差益	-	46
償却債権取立益	-	300
賞与引当金戻入額	5,697	-
その他	4,365	4,325
営業外収益合計	10,397	4,723
営業外費用		
支払利息	48	145
為替差損	114	-
敷金償却	-	540
貸倒引当金繰入額	7,321	-
偶発損失引当金繰入額	-	272,825
営業外費用合計	7,484	273,510
経常利益又は経常損失(△)	101,633	△79,583
特別利益		
受取保険金	-	4,814
債務免除益	837	1
その他	74	57
特別利益合計	911	4,873
特別損失		
投資有価証券評価損	11,705	4,546
減損損失	-	209
和解金	-	20,000
特別損失合計	11,705	24,756
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	90,839	△99,465
法人税、住民税及び事業税	1,002	39,508
法人税等調整額	△1,251	△12,133
法人税等合計	△248	27,374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,088	△126,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	91,088	△126,840

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	91,088	△126,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	690	△3,106
その他の包括利益合計	690	△3,106
四半期包括利益	91,779	△129,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,779	△129,947
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	90,839	△99,465
減価償却費	29,247	37,441
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,321	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13,521	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,786	1,481
受取利息及び受取配当金	△334	△51
支払利息	48	145
為替差損益(△は益)	87	△46
減損損失	-	209
株式報酬費用	-	2,299
投資有価証券評価損益(△は益)	11,705	4,546
償却債権取立益	-	△300
債務免除益	△837	△1
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△57
売上債権の増減額(△は増加)	△61,418	△75,967
商品等の増減額(△は増加)	355	378
仕入債務の増減額(△は減少)	3,937	△12,710
前渡金の増減額(△は増加)	△28,599	1,125
その他の流動資産の増減額(△は増加)	20,639	△60,104
未収消費税等の増減額(△は増加)	17,354	△16,078
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△5,424	50,437
その他の固定資産の増減額(△は増加)	5,000	-
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△880	△380
未払法人税等の増減額(△減少額)	3,707	△1,424
和解金	-	20,000
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	-	272,825
その他	7,109	△1,274
小計	80,551	123,065
利息及び配当金の受取額	70	396
利息の支払額	△48	△518
法人税等の支払額	△5,194	△8,601
和解金の支払額	-	△20,000
保険金の受取額	-	4,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,379	99,156

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	-	40,200
有形固定資産の取得による支出	△75,527	△194,424
貸付けによる支出	△20,000	-
貸付金の回収による収入	710	-
預り保証金の返還による支出	-	△4,000
その他	△3,399	△1,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,216	△159,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	108,000	-
その他	6	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,006	△14
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	85,081	△60,653
現金及び現金同等物の期首残高	185,244	269,702
現金及び現金同等物の四半期末残高	270,326	209,048

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,352,477	58,476	—	1,410,954	28	1,410,983	—	1,410,983
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	605	29	83,333	83,968	17,251	101,219	△101,219	—
計	1,353,083	58,506	83,333	1,494,923	17,280	1,512,203	△101,219	1,410,983
セグメント利益又は 損失(△)	141,262	△27,490	11,371	125,143	△26,423	98,720	—	98,720

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額△101,219千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,396,418	61,412	—	1,457,831	14	1,457,846	—	1,457,846
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	30	54	60,600	60,684	18,000	78,684	△78,684	—
計	1,396,449	61,466	60,600	1,518,516	18,014	1,536,531	△78,684	1,457,846
セグメント利益又は 損失(△)	185,009	△19,215	36,329	202,123	△12,919	189,203	—	189,203

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額△78,684千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計			
減損損失	—	—	—	—	209	—	209

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

(重要な後発事象)

当社連結子会社における訴訟の和解の合意について

当社の連結子会社である株式会社伊豆シャボテン公園（以下「ISP社」という）は、平成27年11月13日付で、本年7月29日成立の和解内容の一部を変更する内容の合意書を将来に向かい締結しました。この和解の内容は、株式会社ケプラム（以下「ケプラム社」という）は平成27年11月13日より6ヶ月間、競売手続開始の申立てを行わない旨、6ヶ月経過後、ケプラム社が再度競売手続の申立てを行った場合には、ケプラム社は、ケプラム社が保有する株式会社ICPの債権を最大限利用し、自己競落に努め、その後ISP社との間に賃貸借契約を締結し、ISP社による公園事業の継続を確約する旨等について合意しております。